



## 2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年4月30日

上場会社名 バリューコマース株式会社 上場取引所 東  
コード番号 2491 URL <https://www.valuecommerce.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 最高経営責任者 (氏名) 香川 仁  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 遠藤 雅知 TEL 03-5210-6688  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年12月期第1四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	8,181	6.9	1,055	△19.8	1,061	△20.8	1,053	15.3
2024年12月期第1四半期	7,653	△0.4	1,315	△11.6	1,340	△9.8	913	△10.6

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 1,117百万円 (24.5%) 2024年12月期第1四半期 897百万円 (△9.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	48.65	—
2024年12月期第1四半期	28.26	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期第1四半期	19,991	13,284	66.5	613.44
2024年12月期	19,592	12,860	65.6	593.73

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 13,284百万円 2024年12月期 12,860百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	25.00	—	32.00	57.00
2025年12月期	—	—	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	25.00	—	24.00	49.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	14,455	△3.4	1,655	△24.7	1,655	△25.5	2,000	32.2	92.31
通期	22,900	△24.7	1,500	△63.9	1,500	△63.6	2,100	△26.5	96.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、[添付資料] P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期 1 Q	34,471,000株	2024年12月期	34,471,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	12,814,901株	2024年12月期	12,810,219株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期 1 Q	21,660,365株	2024年12月期 1 Q	32,337,505株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] P. 3 「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加等を背景に、緩やかな回復が続くことが期待されました。一方で、原材料価格やエネルギー価格の高騰、通商政策を含む米国の政策動向の影響等により、先行きは不透明な状況が続いております。

こうした環境の下、当社グループは、ミッション「正しい情報を効率的につなぐ」に基づき、多くの情報から正しい情報を導き出し、その情報を必要とする方々へ効率的に届けることに注力した結果、連結経営成績は次のとおりとなりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、8,181百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

成果報酬型広告「アフィリエイト」については、金融分野の広告主における広告出稿意欲の緩やかな回復が続き、前年同期比で増収となりました。また、オンラインモールのストア向けクリック課金型広告「StoreMatch（ストアマッチ）」についても、広告主であるストアの利用需要が引き続き高く、前年同期比で増収となりました。

販売費及び一般管理費は、新たな事業領域への戦略投資の実施等により、1,415百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

営業利益は、前年同期に比べ「アフィリエイト」における原価率が上昇したこと及び販売費及び一般管理費の増加により、1,055百万円（前年同期比19.8%減）となりました。

経常利益は、1,061百万円（前年同期比20.8%減）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等519百万円を計上したものの、サービス移行業務収益600百万円の計上等により、1,053百万円（前年同期比15.3%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### ①マーケティングソリューションズ事業

マーケティングソリューションズ事業は、コマース事業者のECサイトへの「集客」を軸とするソリューションを提供する事業であります。主要なサービスは、成果報酬型広告「アフィリエイト」であります。

当第1四半期連結累計期間におきましては、「アフィリエイト」について、金融分野の広告主における広告出稿意欲の緩やかな回復が続き、売上高を押し上げましたが、原価率が上昇したこと等により、セグメント利益は前年同期比で減少しました。この結果、セグメント売上高は3,452百万円（前年同期比8.5%増）、セグメント利益は398百万円（前年同期比29.3%減）となりました。

#### ②ECソリューションズ事業

ECソリューションズ事業は、コマース事業者のECサイト上での「販売促進」を軸とするソリューションを提供する事業であります。主要なサービスは、オンラインモールのストア向けクリック課金型広告「StoreMatch（ストアマッチ）」及びCRMツール「STORE's R∞（ストアーズ・アールエイト）」であります。そのほか、ECサイト運営支援「B-Space（ビースペース）」を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間におきましては、「StoreMatch（ストアマッチ）」については、広告主であるストアの利用需要が引き続き高く、前年同期比で増収となりました。一方で、「B-Space（ビースペース）」について、前第2四半期連結会計期間より一部の受託業務から撤退したことによる減収等により、セグメント利益は前年同期比で減少しました。この結果、セグメント売上高は4,377百万円（前年同期比5.4%増）、セグメント利益は1,162百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

#### ③トラベルテック事業

トラベルテック事業は、連結子会社であるダイナテック株式会社（当社は2025年4月1日付で同社を吸収合併しております。）を中心に、主に宿泊施設向けのソリューションを提供する事業であります。主要なサービスは、宿泊予約システム「Direct In（ダイレクトイン）」及び宿泊管理システム「DynaLution（ダイナリユーション）」であります。

当第1四半期連結累計期間におきましては、宿泊施設の投資意欲の回復もあり、前年同期比で増収となりましたが、新たな事業領域への戦略投資や宿泊管理システム移行による投資先行により、セグメント損失となりました。この結果、セグメント売上高は355百万円（前年同期比11.2%増）、セグメント損失は72百万円（前年同期はセグメント損失31百万円）となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は19,991百万円となり、前連結会計年度末と比べて399百万円増加しました。

流動資産は17,503百万円となり、前連結会計年度末と比べて139百万円減少しました。これは、主に未収入金が129百万円減少したことによるものであります。

固定資産は2,488百万円となり、前連結会計年度末と比べて538百万円増加しました。これは、主にのれんが197百万円、投資有価証券が363百万円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は6,707百万円となり、前連結会計年度末と比べて24百万円減少しました。

流動負債は6,647百万円となり、前連結会計年度末と比べて24百万円減少しました。これは、主に買掛金が232百万円、賞与引当金が127百万円、その他流動負債が178百万円増加したものの、未払金が558百万円減少したことによるものであります。

固定負債は59百万円となり、前連結会計年度末と比べて0百万円減少しました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は13,284百万円となり、前連結会計年度末と比べて424百万円増加しました。これは、主に利益剰余金が剰余金の配当により693百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により1,053百万円増加したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は11,776百万円となり、前連結会計年度末と比べて1百万円増加しました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1,350百万円（前年同期は1,400百万円の獲得）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益が1,572百万円であり、プラス要因として、減価償却費が113百万円、仕入債務の増加額が232百万円、未収入金の減少額が136百万円であったものの、マイナス要因として、未払金の減少額が563百万円、法人税等の支払額が531百万円であったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は662百万円（前年同期は80百万円の使用）となりました。これは、主に投資有価証券の取得による支出が365百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が196百万円であったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は686百万円（前年同期は900百万円の使用）となりました。これは、主に配当金の支払額が685百万円であったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年1月31日公表の「2024年12月期 決算短信」で公表いたしました2025年12月期の連結業績予想を修正しております。主な修正理由は、2025年1月31日公表の「「StoreMatch」及び「STORE's R∞」に係るLINEヤフー株式会社との取引契約の終了及びこれに伴う移行サポート業務の提供に係る基本合意書締結に関するお知らせ」に関連したものであります。具体的には、(i) 移行サポート業務の提供の対価として受領する10億円及び、(ii) 当社サービスとLINEヤフー株式会社が開発する新サービスが並行稼働する期間の当社の売上高減少分に対する精算金について、いずれも売上高に計上することを前提に連結業績予想を作成しておりましたが、いずれも特別利益に計上することになりました。詳細につきましては、本日（2025年4月30日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本四半期決算短信における業績見通し等の将来に関する記述は、本四半期決算短信の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,775	11,776
受取手形及び売掛金	4,197	4,143
未収入金	1,495	1,366
その他	176	221
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	17,642	17,503
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備(純額)	99	96
工具、器具及び備品(純額)	114	106
リース資産(純額)	2	1
有形固定資産合計	216	203
無形固定資産		
ソフトウェア	768	754
ソフトウェア仮勘定	73	87
のれん	77	274
その他	4	4
無形固定資産合計	923	1,120
投資その他の資産		
投資有価証券	727	1,090
繰延税金資産	53	48
その他	27	24
貸倒引当金	—	△0
投資その他の資産合計	809	1,163
固定資産合計	1,949	2,488
資産合計	19,592	19,991

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,736	2,968
未払金	2,693	2,135
未払法人税等	572	567
賞与引当金	0	128
その他	668	846
流動負債合計	6,671	6,647
固定負債		
その他	59	59
固定負債合計	59	59
負債合計	6,731	6,707
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,728	1,728
資本剰余金	1,224	1,224
利益剰余金	21,174	21,534
自己株式	△11,517	△11,517
株主資本合計	12,609	12,970
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	250	314
その他の包括利益累計額合計	250	314
純資産合計	12,860	13,284
負債純資産合計	19,592	19,991

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	7,653	8,181
売上原価	4,970	5,709
売上総利益	2,682	2,471
販売費及び一般管理費	1,367	1,415
営業利益	1,315	1,055
営業外収益		
アフィリエイト報酬精算益	0	0
投資事業組合運用益	17	0
貸倒引当金戻入額	2	1
その他	5	4
営業外収益合計	25	6
営業外費用		
為替差損	0	0
その他	—	0
営業外費用合計	0	0
経常利益	1,340	1,061
特別利益		
サービス移行業務収益	—	600
特別利益合計	—	600
特別損失		
投資有価証券評価損	—	88
特別損失合計	—	88
税金等調整前四半期純利益	1,340	1,572
法人税、住民税及び事業税	444	536
法人税等調整額	△17	△17
法人税等合計	427	519
四半期純利益	913	1,053
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	913	1,053
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	63
その他の包括利益合計	△16	63
四半期包括利益	897	1,117
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	897	1,117
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,340	1,572
減価償却費	87	113
のれん償却額	13	4
株式報酬費用	4	7
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△1
受取利息	△0	△0
投資事業組合運用損益(△は益)	△17	△0
投資有価証券評価損益(△は益)	—	88
売上債権の増減額(△は増加)	△66	57
仕入債務の増減額(△は減少)	237	232
未収入金の増減額(△は増加)	97	136
未払金の増減額(△は減少)	△281	△563
その他	210	234
小計	1,622	1,882
利息の受取額	0	0
法人税等の支払額	△221	△531
法人税等の還付額	0	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,400	1,350
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1	△2
無形固定資産の取得による支出	△79	△98
投資有価証券の取得による支出	—	△365
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△196
投資活動によるキャッシュ・フロー	△80	△662
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△899	△685
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△900	△686
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	418	1
現金及び現金同等物の期首残高	21,534	11,775
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,952	11,776

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューションズ事業	ECソリューションズ事業	トラベルテック事業	計		
売上高						
成果報酬型広告 「アフィリエイト」						
ASP	555	—	—	555	—	555
コンサルティング	2,120	—	—	2,120	—	2,120
オプション	503	—	—	503	—	503
クリック課金型広告 「StoreMatch (ストアマッチ)」	—	3,361	—	3,361	—	3,361
CRMツール 「STORE's R∞ (ストアーズ・アール エイト)」	—	617	—	617	—	617
トラベルテック	—	—	318	318	—	318
その他	2	173	—	175	—	175
顧客との契約から 生じる収益	3,182	4,152	318	7,653	—	7,653
外部顧客への売上高	3,182	4,152	318	7,653	—	7,653
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	0	0	△0	—
計	3,182	4,152	319	7,653	△0	7,653
セグメント利益又は セグメント損失(△)	563	1,212	△31	1,744	△428	1,315

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△428百万円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	マーケティング ソリューションズ事業	ECソリューションズ事業	トラベルテック事業	計		
売上高						
成果報酬型広告 「アフィリエイト」						
ASP	602	—	—	602	—	602
コンサルティング	2,124	—	—	2,124	—	2,124
オプション	715	—	—	715	—	715
クリック課金型広告 「StoreMatch (ストアマッチ)」	—	3,694	—	3,694	—	3,694
CRMツール 「STORE's R∞ (ストアーズ・アール エイト)」	—	599	—	599	—	599
トラベルテック	—	—	351	351	—	351
その他	10	83	—	94	—	94
顧客との契約から 生じる収益	3,452	4,377	351	8,181	—	8,181
外部顧客への売上高	3,452	4,377	351	8,181	—	8,181
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	3	3	△3	—
計	3,452	4,377	355	8,185	△3	8,181
セグメント利益又は セグメント損失(△)	398	1,162	△72	1,488	△432	1,055

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△432百万円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。